

南会津 小戸沢・東の沢

木下

【日時】 2010年9月18日(土)～20日(月)

【メンバー】L佐貫、棚橋、木下

9月の3連休、当初早出川支流の計画であったが、不安定な天気が予想される。今年は降り出すと大雨になる場合が多く、不安定な天気のもとでは溪を楽しむ気分になれない。流域の大きさやエスケープを考えてリーダーが選んだのは会津朝日岳北面に流下する小戸沢であった。二人は先月入溪しており、また僕は檜戸沢に続いての会津朝日の沢、転進案の意見が一致、出発。

9/18 晴

只見ダム湖半の大きな駐車場に車をデポして出発。小戸沢林道は入口からゲートが閉まっている。夏草の茂る林道を40分ほど行くと西の沢との二俣で終点となる。昨日までの雨の影響はなく穏やかな流れである。沢に入りすぐに堰堤を右から越す。



東の沢は大岩やゴーロのない平流でおおよそ5mほど上にはブナ森の段丘、小さな支流は滝となって流入してくるといった風景が続く。足元の小砂利は砕けたベージュ色の花崗岩、木々の緑を映し出した水の色は翠。平凡だが心穏やかになる溪相である。



しばらくで沢巾一杯に落ちる二条8m滝、左をへつって真ん中を登る、アクアステルスのフリクションがバッチリきいて快適そのもの。東の沢は大きな支流がないので、現在地が確認しにくい。支流が入るたびに高度計とコンパスで確認をしていくが、結構特定しにくい、三人で「あーだ、こーだ」と相談してみると不思議と当たってくる。多分、思い込みや勘違いが他人の意見で補正されていくのであろう。

時折、小滝や淵が現われるが容易に通過でき、長

い沢も距離をどんどん稼いでいく。597m標高点付近から落差が出てくる、急な右折をすると巾2-3mほどに圧縮された美しいゴルジュ。淵を持った3m滝が3つ懸かる、へつりや



突っ張りで通過でき快適。いくつかの滝を登っていくと3:2の支流を分ける、ここから少し等高線が広がるので、「幕場がないかなあ」と探しながら行くと右岸の段丘に適地があった。ブナの大木を見ると切付けもあり「やっぱり」と、早い今日はここまで。この先にも幕場はあったがここがもっとも快適な場所だったと思う。焚火を熾してビールを開ける、ブナ森と流れの音に包まれて楽しい夕餉を過ごす。7時には夢の中へ・・・

9/19 曇時々晴

朝食の最中に雨が落ちてきて、あわててフライを張る一幕もあったが、すぐに止み、空が明るくなってきた。天気がやや心配だが引き返す空模様ではない、5時半出発。

ブナ森の中の流れに小滝がかかるようになり

快適に登るが、2つが登れず右岸より高巻く。標高920m、3:2の支流出合、権太郎沢が藪沢との記録があり左の支流に入る。出合から5m、4m、5mとフリクションを利かせて登る滝があり楽しい。倒木で荒れているところもあるが小滝が続き楽しく登れる。標高1200m付近で水が無くなる、一人2.5Lの水を汲んで詰めに入る。1350mぐらいまで沢型を使い、左手の尾根に出てP1424に向かう、まあ普通の藪漕ぎだ。ここよりP1506に繋がる尾根に向かう、石楠花と灌木のエアウォーク藪となり時間がかかる。時折、五葉松の大木がありこの下は藪がなく息がつける。西の沢を分ける稜線に登り切ったところを「長須ヶ玉」とするのだろうか？

P1506へはさらに蔓が絡んだ藪になり只見のジャングルを堪能する。幸い高曇りに爽やかな風が吹く「今日は藪日和ね～」と佐貫さん、確かに雨や炎天であったら悲惨だったなあと思いつつ二人の後をエアウォークしていく。P1506からは藪&岩稜に変わる、檜戸側は美しいスラブ壁、洗戸側は急峻



な谷底に吸い込まれていく。岩稜は概ね檜戸側の藪を絡んで登るようになり、引っ張れば切れそうな古いフィックスロープが見られる。ギャップの間はナイフエッジ状になって一箇所後ろ向きに跨って通過する、ここは高度感もあり補助ロープを出した。檜戸沢源頭が見えてきたなと思ったら、ポンと会津朝日岳の頂上に出た、おおよそ5時間の藪漕ぎであった。高曇りで視界も利き、しばし頂上の展望を楽しんで小屋へと下る。小屋に着いて、水汲みに行く。小幽沢側への踏跡を降りていくが、すぐに藪になりルートを探している時に枝に眼鏡を飛ばされてしまった。辺りをずいぶん探したが視力の弱い一人では見つからず、肩を落として小屋に帰った。気をつけなければいけません。



小屋は我々だけの独占で、雨の心配もせず ゆったりと過ごすことが出来た。

9/20 雨

出発と同時に雨が降り出した。昨日の眼鏡紛失場所へ二人に来てもらい捜索。20分程探してもらったのだろうか、枝に飛ばされたと思った方向とまったく反対の場所で棚橋さんが見つけてくれた、感謝、感謝。

雨は次第に強くなりびしょ濡れであったが眼鏡が見つかったお陰で、心は軽く下山が出来た。いわなの里で軒下を借り雨宿り。この衛星電話をお借りしてタクシーを呼んで車に戻った。

「村の湯」で冷えた体を温めれば、今回の変化に富んだ山行も終了、渋滞を避けての帰京となった。

【行程】

- 9/18 只見ダム駐車場 (7:15) -東の沢出合 (8:00) -標高点597 (11:50) -標高660m付近段丘 (13:00) C1
- 9/19 C1 (5:30) -権太郎沢出合 (7:24) -標高1200m付近水無くなる (9:40) -P1420 (10:55) -長須ヶ玉 (11:50) -P1506 (11:50) -会津朝日岳 (15:15-30) -避難小屋 (15:58)
- 9/20 避難小屋 (5:30) -叶の高手 (6:23) -いわなの里 (7:50)

【地図】 田子倉湖 会津朝日岳